



公益社団法人 日本補綴歯科学会 第128回 学術大会

The 128th Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

会期 2019年5月10日(金)～12日(日) 会場 札幌コンベンションセンター



公益社団法人 日本補綴歯科学会 第128回学術大会

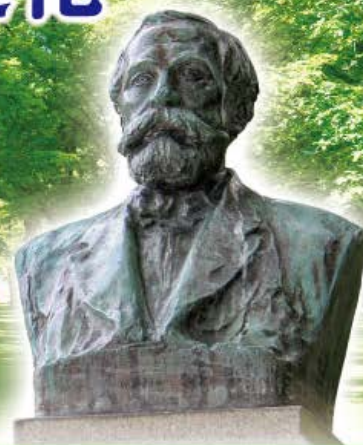
The 128th Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

補綴歯科の挑戦と進化

開催日 2019年5月10日(金)～12日(日)

会場 札幌コンベンションセンター

大会長 横山 敦郎
(北海道大学大学院歯学研究院 口腔機能補綴学教室)



公益社団法人日本補綴歯科学会第128回学術大会は、おかげさまで盛会裏に終了いたしました。
ご参加いただいた皆様、ご支援・ご協力いただいた皆様に、心より厚く御礼申し上げます。
なお次回、第129回学術大会は、2020年6月26日(金)～6月28日(日)に、古谷野 潔先生(九州大学大学院歯学研究院)のお世話で、福岡国際会議場で開催されます。
今後とも、皆様の公益社団法人日本補綴歯科学会へのご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

2019年5月13日
公益社団法人日本補綴歯科学会 第128回学術大会
大会長 横山 敦郎
(北海道大学大学院歯学研究院)

👉 第128回 学術大会参加の皆様へ

👉 発表される先生方へ

お知らせ

2019.05.07 [ランチョンセミナー](#)のページを公開しました

2019.05.07 [抄録データ](#)を掲載しました。

2019.04.09 [確定版のタイムテーブル](#)を掲載しました。

大会事務局

北海道大学大学院歯学研究院
口腔機能学分野 口腔機能補綴学教室
〒060-8586

学会事務局

公益社団法人日本補綴歯科学会 事務局
〒105-0004
東京都港区新橋5-13-5-3F A室

運営準備室

(株)近畿日本ツーリスト北海道 北海道DM支店
〒060-0003
札幌市中央区北3条西2丁目 日通札幌ビル6階

札幌市北区北13条西7丁目
Tel : 011-706-4270
Fax : 011-706-4309
e-mail: jps128@den.hokudai.ac.jp

Tel : 03-5733-4680
Fax : 03-5733-4688

Tel : 011-280-8855
Fax : 011-221-5491
e-mail : s-convention-1@or.knt-h.co.jp
(営業時間 : 月~金 9:00~17:45 土日・祝祭日は休業)

[ページの先頭へ](#)

Copyright © The 128th Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.
034441



公益社団法人 日本補綴歯科学会 第128回 学術大会

The 128th Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

会期 2019年5月10日(金)～12日(日) 会場 札幌コンベンションセンター

第128回学術大会参加の皆様へ



1. 受付は下記の時間に行います。
 1. 5月10日(金) 16:00～18:00
 2. 5月11日(土) 8:10～18:30
 3. 5月12日(日) 8:10～15:00
2. 事前参加登録がお済みの方は、学術大会参加章(ネームカード)とプログラム・抄録集を事前に送付致しますので、当日はお忘れなくご持参下さい。
3. 大会期間中に参加登録される方は、総合受付にて当日会費をお支払いの上、学術大会参加章とプログラム・抄録集をお受け取り下さい。参加章にはご氏名・ご所属をご記入下さい。
尚、当日会費のお支払いは現金のみの受付となります。クレジットカードでの支払いには対応できませんので、ご了承下さい。
4. 学術大会参加章(ネームカード)にはご氏名・ご所属を記入の上、身に付けてご入場ください。参加章下部は領収書になっています。
5. 本学会専門医の申請あるいは更新を希望する場合は、会員証のバーコードを読取機に通してください。
6. 専門医研修会参加単位登録
5月11日(土)に開催される臨床リレーセッション2(専門医研修単位認定セミナー)、または5月12日(日)に開催される専門医研修会終了後に会場出口にて、会員証のバーコードを読取機に通してください。尚、いずれかに参加すれば単位は認定されますが、両方出席された場合であっても、認定される単位は1回分のみです。
7. 学会会場におけるビデオ・写真撮影等は、発表者の著作権保護のため禁止させていただきます。尚、特別な事由がある場合は大会長に申し込んでください。
8. 同時通訳レシーバー
海外特別講演では同時通訳を行います。同時通訳レシーバーは5月12日(日)10:30より第1会場前受付にて貸し出しを行います。貸し出しには会員カードが必要となります。
該当プログラム終了後は、すみやかにご返却ください。尚、紛失・破損の場合は実費を申し受けます。
9. 企画開催中の質問とアンケート
Googleドライブのサービスのひとつである、Google フォームを用いて、セッションを行う講師の先生に直接質問することが可能です。各企画抄録に掲載されていますQRコードをスマートフォン等で読み込み、各セッションの講師の先生に対して質問をご記載下さい。セッション中に座長の先生が取りまとめ、質疑応答の際に講師の先生にフロアからの質問として回答して頂きます。
また、学術大会のアンケートについても、同様な方法でご回答頂けますので是非ご活用下さい。また、スマートフォンをお持ちでない場合は、抄録集末尾に添付されています「日本補綴歯科学会第128回学術大会 アンケート」をご利用下さい。
10. 懇親会
本学術大会では5月10日(金)19:00から京王プラザホテル札幌2階エミネンスホールにて懇親会を開催いたします。是非ご参加いただきますようお願いいたします。当日受付も行いますので、会場受付にてお申し込みください。(当日会費15,000円)
懇親会はどなたでも参加可能です。会員以外の方も是非ご参加ください。

尚、5月10日（金）の18：20に札幌コンベンションセンターから、懇親会場の京王プラザホテル札幌行きの送迎バスをご用意致しますので、懇親会に参加される方はご利用下さい。

11. 託児施設

5月11日（土）8：30～18：00、5月12日（日）8：30～15：30に、会場に託児施設をご用意いたします。大会ホームページより受け付けておりますので、利用規約をご確認いただき申込書へ必要事項をご記入の上FAXまたはEメールにてお申込みください。定員になり次第締め切らせていただきますので、お早目にお申込みください。

申込先名：株式会社近畿日本ツーリスト北海道

E-mail：s-convention-1@or.knt-h.co.jp TEL：011-280-8855 FAX：011-221-5491

利用規約・要項について：下記ホームページをご確認ください

第128回学術大会ホームページ

託児施設 (<http://www.knt.co.jp/ec/2019/jps128/takuji.html>)

申込期限：2018年4月15日（月）

12. 日歯生涯研修について

本学術大会に参加した場合は、特別研修として10単位が取得できます。尚、特別研修の単位登録には受講研修登録用ICカードが必要ですので、ご自身の日歯ICカードを必ずご持参ください。また、当分の間、特別研修の取得単位は一般の研修単位（教材研修・受講研修・能動的研修）には加算されず、修了基準の対象からは除外されます。

13. 日本補綴歯科学会会員の皆様へ

バーコード付き会員証で学会参加登録、専門医研修会出席登録が可能ですので、会員証を必ずご持参ください。（会員証は同時通訳レシーバー貸し出しの際にも必要となります）

14. ブランケットの貸し出しについて

会場内でブランケットの使用をご希望される方のために、ブランケットをご用意しております。総合受付にて貸し出しを致します。学会会場を後にされる時に、総合受付に返却をお願い致します。



公益社団法人 日本補綴歯科学会 第128回 学術大会

The 128th Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

会期 2019年5月10日(金)～12日(日) 会場 札幌コンベンションセンター

発表される先生方へ



課題口演・一般口演発表

1. 発表時間

- (1)課題口演発表10分、質疑応答10分
- (2)一般口演発表8分、質疑応答2分

2. 発表方法

(1)口演発表について

- ①発表時間は上記を参照してください。質疑に関しては座長の指示に従ってください。
- ②口演中は舞台上の講演タイマーの緑色ランプが点灯します。
1分前に黄色ランプ、終了時に赤色ランプが点灯しますので、時間を厳守してください。
- ③次演者は、所定の場所（次演者席）にてお待ちください。

(2)プレゼンテーションについて

- ①PCを使用する発表は全てPCによる発表（単写）とします。
発表時は、舞台上のマウスとキーボードにてスライドを操作してください。
- ②スクリーン投影にあたっては、PCの解像度をXGA（1,024×768）に統一します。
ページ設定は「画面にあわせる（4：3）」または「標準（4：3）」としてください。
「16：9」のワイドサイズでスライドを作成されますと、スライドの上下に黒い縁が表示されます。
特に、PowerPoint2013以降をお使いの場合、下記にご留意ください。
初期設定では、「スライドサイズが16：9」、「発表者ツールが有効」になっています。
▶スライドのサイズを「標準（4：3）」に変更してからデータを作成して下さい。
▶スライドショーの項目で「発表者ツールを使用する」のチェックを外して下さい。

(3)ノート、次のスライド、発表経過時間などを確認できる「発表者ツール」は、セッション進行の遅滞を招く恐れがあるため、使用できません。

会場にプリンターはございません。あらかじめ原稿をご用意ください。

(4)Windowsにて発表データを作成された場合は、USBフラッシュメモリにてご提出ください。

(5)今回ご用意しておりますコンピュータのOSとPowerPointは以下のとおりです。

OS : Windows 10

アプリケーション : PowerPoint 2016 / 2013

(6)Macintoshをご使用の場合は、ご自身のPCをご持参ください。

(7)発表予定時刻の1時間前までに、PC受付にて発表データの試写を行ってください。

(8)スライドの1枚目は、発表タイトルと発表者氏名を明記した表紙ページとしてください。

3. データでお持込の方へ

(1)Microsoft PowerPoint 2016/2013で作成し、次の標準フォントをご使用ください。

[日本語]メイリオ, MSゴシック, MSPゴシック, MS明朝, MSP明朝

[英語]Arial, Arial Black, Century, Century Gothic, Times New Roman

(2)アニメーションおよびビデオファイルは使用可能ですが、Windowsの初期設定で動作可能なことが条件です。

(3)音声の出力には対応しておりません。

(4)発表後のデータは、事務局で責任を持って消去いたします。

4. PCをご持参

(1)使用機種、OS、アプリケーションに制限はありませんが、Surface、iPadその他タブレット端末については、動作の保証はできかねます。

(2)ミニD-Sub15ピンによるモニター出力が必要です。

Macintoshや一部の薄型ノートパソコンでは、別途外部出力コネクタが必要な場合がございますので、必ず各

自でご用意ください。

(3)ビデオファイルの使用も可能ですが、PC受付にて必ず動作確認を行ってください。

(4)スクリーンセーバーならびに省電力設定、パスワードはあらかじめ解除しておいてください。

(5)電源アダプターを忘れずにお持ちください。

(6)故障などのトラブルに備え、バックアップデータをお持ちください。

(7)PC受付での試写後、発表時間の20分前までに、会場左前方のPCオペレーター席にPCをお持ちください。発表終了後は、この席にてPCをお返しいたします。

5. 利益相反 (COI) について

利益相反の状態について補綴歯科学会のホームページを参照いただき発表スライドに開示してください。

6. 質疑応答について

(1)質問者は座長の指示に従い、所定のマイクで所属、氏名を明らかにして要領よく簡潔に質疑を行ってください。

(2)質問される方は、予め質問用マイクの付近にお越し下さい。
円滑な進行にご協力をお願いします。

ポスター発表

1. 発表日時

2019年5月11日 (土) 9:00~18:00

2019年5月12日 (日) 9:00~14:00

2. 会場

大ホールB

3. 発表方法

(1)展示について

11日、12日の2日連続して展示していただきます。

貼り替えはありません。

①展示用に、横90cm×縦210cmの展示板を用意します。

②右図の網掛けの範囲内に展示してください。

③大会事務局で展示板に演題番号を用意します。

表題、氏名、所属は発表者自身が用意してください。

また、ポスターの右上隅に発表者の写真 (L版) を掲示してください。

④ポスターの展示板への貼り付けはプッシュピンを使用し、両面テープなどの粘着テープは使用しないでください。プッシュピンは会場に用意します。

(2)ポスター中にCOI該当の有無を開示してください。

(3)ポスター討論 (質疑応答) について

①質疑応答は、以下の時間に行います。

2019年5月11日 (土) 12:00~12:50 (演題番号末尾が奇数の演題)

2019年5月12日 (日) 10:00~10:50 (演題番号末尾が偶数の演題)

②発表者は、上記の時間中ポスターの横に待機し、質疑応答を行ってください。

また、この時間内は会場内に用意しておりますリボンを胸に付けてください。不在時はリボンをポスターに留めておいてください。

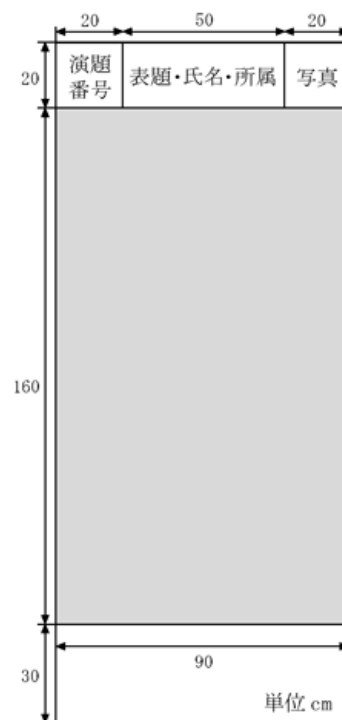
4. ポスターの掲示・撤去

以下の期間中に行ってください。

(1)掲示 2019年5月11日 (土) 8:00~9:00

(2)撤去 2019年5月12日 (日) 14:00~15:00

(15:00以降は事務局で処分いたします)



専門医ケースプレゼンテーション

1. 発表日時

2019年5月11日（土）
9：00～18：00（展示）
2019年5月12日（日）
9：00～11：00（展示）
11：00～12：00（審査）
12：00～14：00（展示）

2. 会場

専門医ケースプレゼンテーション会場
2F 206、207会議室

3. 発表方法

(1) 展示について

- ① 展示用に、横180cm×縦210cmの展示板を用意します。
- ② 右図の網掛けの範囲内に展示してください。
- ③ 大会事務局で展示板に演題番号を用意します。
表題、氏名、所属は発表者自身が用意してください。
また、ポスターの右上隅に発表者の写真（L版）を掲示してください。
- ④ ポスターの展示板への貼り付けはプッシュピンを使用し、両面テープなどの粘着テープは使用しないでください。プッシュピンは会場に用意します。

(2) ポスター中にCOI該当の有無を開示してください。

(3) 審査について

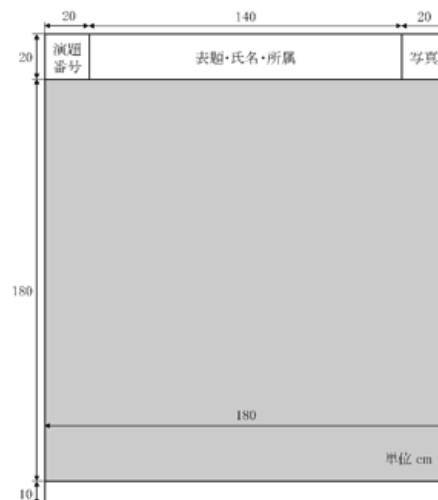
- ① 質疑応答は、以下の時間に行います。
 - ① 審査委員の指示に従い、10分程度で説明を行ってください。
 - ② 説明終了後、申請者は審査委員の質疑を受けてください。

4. ポスターの掲示・撤去

以下の期間中に行ってください。

- (1) 掲示 2019年5月11日（土）8：00～9：00
- (2) 撤去 2019年5月12日（日）14：00～15：00
(15：00以降は事務局で処分いたします)

専門医ケースプレゼンテーション用





公益社団法人 日本補綴歯科学会 第128回 学術大会

The 128th Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

会期 2019年5月10日(金)～12日(日) 会場 札幌コンベンションセンター

ランチョンセミナー



大会2日目(5月11日(土))に6件、大会3日目(5月12日(日))に4件のランチョンセミナーを実施いたします。

実施当日の朝8:10より、「ランチョンセミナーチケット配布デスク」(第2会場と第3会場の間)にて当日のランチョンセミナーチケットを先着順でお渡しいたします。**数に限りがあります**ので、入手ご希望の場合はお早目にお越しください。

5月11日(土)

【ランチョンセミナー 2-1】

5月11日(土) 第1会場 大ホールA 12:10～12:50

口腔と全身の健康を目的とした総義歯のケアとメンテナンスに関する白書の概要

講師：河相 安彦(日大松戸)

共催：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社

【ランチョンセミナー 2-2】

5月11日(土) 第2会場 特別会議場 12:10～12:50

大学病院におけるデジタルソリューションの活用

講師：金澤 学(医歯大)

多数の歯科医師と歯科技工士が働く大学病院における口腔内スキャナーとCAD/CAMシステムによるオーラルセラミックス修復の活用法を解説する。

共催：株式会社松風

【ランチョンセミナー 2-3】

5月11日(土) 第3会場 中ホール 12:10～12:50

抗菌性粘膜調整材「ティッシュコンディショナーCPC」の開発と臨床

座長：村田比呂司(長崎大)

講師：阿部 泰彦(広島大)

共催：株式会社モリタ

【ランチョンセミナー 2-4】

5月11日(土) 第4会場 107・108会議室 12:10～12:50

補綴主導型インプラント治療におけるデジタルテクノロジーの活用

講師：松本 和久(松本デンタルオフィス)

予知性の高いインプラント治療を実現するために、術前の診査・診断からインプラント体の埋入、そして補綴物製作にデジタルテクノロジーを応用することにより、正確な位置へのインプラント体の埋入とより精度の高い補綴物の作製をサポートすることができます。今回、デンツプライシロナがご提供する「デジタルインプラントソリューション」のワークフローを松本和久先生から症例を通しご案内いたします。

共催：デンツプライシロナ株式会社

【ランチョンセミナー 2-5】

5月11日(土) 第5会場 小ホール 12:10~12:50

CAD/CAM冠の支台歯形成と歯髄保護

座長：塩田 真 (医歯大)

講師：三浦 宏之 (医歯大)

CAD/CAMは高精度で、材料が持つ本来の優れた物性をそのまま引き継いだ補綴装置を作ることができるという利点があり、2014年以降、小臼歯部、さらには下顎第一大臼歯にもCAD/CAMレジン冠が保険導入され、多くの臨床に取り入れられるようになってきました。

光学印象を含めデジタルデンティストリーを成功に導くためには特に支台歯形成が重要となり、さらに、CAD/CAM冠では、従来のメタルクラウンに比べて歯質の削除量も多いため、生活歯では歯髄の保護も重要なポイントになります。本セミナーでは、CAD/CAM冠の支台歯形成と歯髄保護について、知覚過敏抑制材「ナノシール」の紹介も含めてご講演いただきます。

共催：日本歯科薬品株式会社

【ランチョンセミナー 2-6】

5月11日(土) 第6会場 204 会議室 12:10~12:50

荷重が配向性に与える影響を考慮したインプラントデザイン ～FINESIA インプラントへの期待～

講師：黒嶋伸一郎 (長崎大)

共催：京セラ株式会社

5月12日(日)

【ランチョンセミナー 3-1】

5月12日(日) 第1会場 大ホールA 12:20~13:00

新素材サクラジルコニアの特徴

講師：崎田 竜仁 (株式会社CARES ソリューションセンター)

次世代多層ディスクはフルジルコニアレストレーションの限界を打ち破れるか？

講師：細川 隆司 (九歯大)

4/1(月)より日本先行発売の「SAKURA ジルコニアディスク」について、九州歯科大学 口腔再建リハビリテーション学分野 細川隆司教授と株式会社鹿児島ミリングセンター 崎田竜仁社長のお二人にご講演いただきます。天然歯のように自然な色調と、高強度・高透明性を特長に持つ「SAKURA」について、症例を交えながら臨床と技工の両面より解説いただきます。ぜひみなさまご参加ください。

共催：ストロマン・ジャパン株式会社

【ランチョンセミナー 3-2】

5月12日(日) 第2会場 特別会議場 12:20~13:00

義歯の管理に口腔機能低下症・オーラルフレイルの概念を取り入れよう！

講師：上田 貴之 (東歯大)

義歯の日常臨床にオーラルフレイルや口腔機能低下という視点をくわえることの重要性・有効性をご講演いただきます。2018年4月の診療報酬改定では、「口腔機能低下症」に関する検査と管理が保険導入され、また、有床義歯咀嚼機能検査の算定要件も緩和されました。なぜ口腔機能低下症の診断には7つの検査が必要なのか、また、これらの検査結果を、義歯の診療でどのように生かしていくのかについて、ご解説していただきます。

協賛：株式会社ジーシー

【ランチョンセミナー 3-3】

5月12日(日) 第3会場 中ホール 12:20~13:00

洗口液の使用が義歯装着患者に及ぼす臨床的微生物学的な影響

講師：馬場 一美（昭和大）

本セミナーでは、歯科専売洗口液を用いてデンチャーブランク内細菌叢変化を検証して洗口液での含嗽が、義歯装着生活者の義歯衛生管理の一端を担う予防効果を期待できるか、データをもとに、その臨床応用の可能性を紹介する予定です。

共催：アース製薬株式会社

【ランチョンセミナー 3-5】

5月12日（日） 第5会場 小ホール 12:20～13:00

Etak®抗菌化による デンチャーブランクコントロール

座長：村田比呂司（長崎大）

講師：二川 浩樹（広島大）

本セミナーでは、デンチャーブランクや義歯の汚れの一般的な概念にはじまり、市販義歯洗浄剤の特徴、使い分け、効果などについてお話しします。さらに、広島大学にて研究・開発した固定化抗菌材「Etak®」を主成分とした、「使用するほど義歯表面を抗菌加工し、バイオフィルムを形成しにくくする」という新しいコンセプトの義歯抗菌スプレーについてご説明いたします。「義歯を抗菌バリアする」という新発想の義歯用スプレーが、外来患者さんはもちろん、訪問歯科対象の患者さん・ご家族にとっても有意義なものとなれば幸いです。

共催：メディア株式会社



公益社団法人 日本補綴歯科学会 第128回 学術大会

The 128th Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

会期 2019年5月10日(金)～12日(日) 会場 札幌コンベンションセンター

目次表・プログラム



□ 抄録

[プログラム・抄録集 \(PDF\)](#)

[抄録 課題口演 \(PDF\)](#) 2019年5月7日掲載

[抄録 一般口演 \(PDF\)](#) 2019年5月7日掲載

[抄録 ポスター \(PDF\)](#) 2019年5月7日掲載

[抄録 専門医 \(PDF\)](#) 2019年5月7日掲載

□ 日程表

[タイムテーブル \(PDF\)](#) 2019年4月9日掲載

[Timetable\(PDF\) as of April 9th, 2019](#)

□ プログラム

□ **理事長講演** 2019年5月11日(土) 10:10～10:50 (40分)

「**歯科補綴学の本質を探究する**」

座長：市川 哲雄 (徳島大)

講師：大川 周治 (明海大)

□ **特別講演** 2019年5月11日(土) 13:00～14:00 (60分)

「**粘菌の用不用適応能に倣った形状最適化**」

座長：横山 敦郎 (北海道大)

講師：中垣 俊之 (北海道大学 電子科学研究所)

失われた顎口腔領域の形態と機能の回復は、補綴歯科学の大きな使命であり、再生医療に関する研究は、現在の補綴歯科学の一翼を担っているといっても過言ではない。これらの研究の基になるものが生物学（バイオロジー）である。本特別講演においては、生命システム特有の情報処理に関する研究をご専門とされている北海道大学電子科学研究所の中垣俊之教授に、生物の機能と形態の関係についてご講演をお願いした。生物のつくる機能的構造がどのようなアルゴリズムにより設計されるのか、真核単細胞生物である粘菌の循環系（血管網のような輸送システム）の形成機構の数理モデル化、さらに生物の形状最適化の特徴について最新の知見をご紹介戴く。

□ **海外特別講演（同時通訳あり）** 2019年5月12日(日) 10:40～12:10 (90分)

座長：水口 俊介 (医歯大)

講師：Charles Goodacre (Loma Linda University)

□ **シンポジウム 1** 2019年5月11日(土) 11:00～12:00 (60分)

「ブラキシズムと上手につきあうために」

座長：藤澤 政紀（明海大）
榎原 絵理（九歯大）
シンポジスト：加藤 隆史（大阪大）
山口 泰彦（北海道大）

ブラキシズムは睡眠中だけでなく覚醒中にも行われており、咬耗、歯周病、知覚過敏、補綴装置の脱離や破損、残存歯の破折、顎関節症、頭痛など様々な障害に関与するリスクファクターと考えられている。しかしながら、その原因やメカニズムについて不明な点が多く残されているのが現状である。今回は生理学的・補綴臨床的観点からブラキシズムについて考えていきたい。

□ シンポジウム2 2019年5月11日（土）13:00～14:00（60分）

「補綴学的、歯周病学的観点から見た連結・非連結」

座長：馬場 俊輔（大歯大）
松下 恭之（九州大）
シンポジスト：鷹岡 竜一（東京支部）
木原 優文（九州大）

補綴学的観点からみた歯の固定と歯周病学的観点から見た歯の固定は必ずしも同一とは限らないが、このことについてこれまで深く議論されているとはいえない。また、固定性補綴装置を用いて連結するのか、可撤性装置で連結するののかに関する選択基準も曖昧である。連結によって得られる利点と欠点も整理されているとはいいがたい。本シンポジウムでは、歯の一次固定、二次固定の補綴学的意義、歯周病学的意義についてディスカッションしたい。

□ シンポジウム3 2019年5月11日（土）14:10～15:40（90分）

「認知症の現状、補綴歯科治療と今後の研究展開」

座長：佐々木啓一（東北大）
笛木 賢治（東京医歯大）
シンポジスト：眞鍋 雄太（神歯科大）
上田 貴之（東歯大）
木本 克彦（神歯大）

本邦では人口の超高齢化に伴い、認知症患者が急増すると予測され、社会的に大きな問題となることが懸念されている。しかしながら、認知症に対する有効な治療法は未だ確立されていない。そのため、認知症患者に補綴歯科治療を行う機会も増えると思われる。一方、これまでに行われた動物実験、疫学研究、ヒトを対象とした実験的研究から、認知機能の維持には咀嚼機能が関連することが示されている。そこで、本シンポジウムでは、まず認知症の臨床現場の状況と認知症患者への義歯診療のガイドラインについて解説し、先行研究から得られた知見を元に補綴学会として取り組むべき大型研究への展開に向けて提言したい。

□ シンポジウム4 2019年5月11日（土）14:10～15:40（90分）

「Biodental Engineering –再生歯科補綴に向けた人工臓器の創成-」

座長：江草 宏（東北大）
西村 正宏（鹿児島大）
シンポジスト：阿久津英憲（国立成育医療研究センター）
松本 卓也（岡山大）
江草 宏（東北大）

約10年前、故笹井芳樹博士は発生過程を模した幹細胞の自律的な器官形成（自己組織化）に成功し、これまでの細胞移植から一歩進んだ人工臓器の移植による再生医療の道筋を描いた。補綴歯科における再生治療に求められる骨、歯、唾液腺は、いずれも立体的な組織/器官であり、これらを試験管内で創出する技術（Biodental Engineering）の革新が待たれる。本企画では、めざましい発展をとげるバイオエンジニアリングの現状を紹介し、その補綴歯科における展望を議論したい。

□ シンポジウム5 2019年5月12日（日）9:00～10:30（90分）

「補綴のアウトカムを真剣に考える -口腔栄養関連サービスを多職種で構築するために-」

座長：窪木 拓男（岡山大）
佐藤 裕二（昭和大）
シンポジスト：菊谷 武（日歯大）
吉村 芳弘（熊本リハビリテーション病院）

本川 佳子 (東京都健康長寿医療センター)

これまでの補綴歯科治療が目指したアウトカムは、失われた機能や審美性を再建し、患者のQOLを向上することであった。しかし、人口構成が大きく変化し、健常者を対象とした補綴歯科治療から、ライフステージや全身状態に合致した、高齢者の介護予防、フレイル予防、認知症予防、さらには要介護高齢者における口腔栄養関連サービス、介護負担の抑制といったアウトカムにも意識を向けなくてはならなくなった。この際、ライフステージや全身状態に合致した栄養摂取機能(量と質)の評価に基づく口腔機能の準備(補綴歯科治療)や食形態の調整、食指導、口腔リハビリテーションが新たな補綴歯科専門医のミッションとなった。これらは、栄養関連職種との連携により補綴歯科専門医が医療の現場に大きく躍り出る千載一遇のチャンスであるとも言える。本シンポジウムでは、日本老年歯科医学会、日本栄養士会のご協力を頂き、口腔栄養関連サービスを構築するための具体的な連携方策について議論したい。

□ **シンポジウム 6** 2019年5月12日(日) 9:00~10:30 (90分)

「**口腔内スキャナーの臨床**」

座長：疋田 一洋 (北医療大)
 近藤 尚知 (岩手医大)
 シンポジスト：星 憲幸 (神歯大)
 高場 雅之 (昭和大)
 米澤 悠 (岩手医大)

ここ数年、次々と国内でも計測装置としての口腔内スキャナーが販売され、すでに臨床現場でも普及を始めている。本学会学術大会においてイブニングセッション、ハンズオンセミナー等を通じて、口腔スキャナーの情報を会員に伝達している。そこで、今回はクラウンブリッジ、インプラント、デンチャーの分野で口腔内スキャナーを臨床応用している専門家にそれぞれの現状と問題点について解説してもらう。

□ **臨床リレーセッション 1** 2019年5月11日(土) 11:00~12:00 (60分)

「**審美領域におけるインプラント治療 ~今何が出来るか、どこまでやるか~**」

座長：正木 千尋 (九歯大)
 横山紗和子 (昭和大)
 講師：土屋 賢司 (東京支部)
 片岡 繁夫 (片岡セラミック)

審美領域におけるインプラント治療を成功に導くためには様々な要素を考慮する必要がある。埋入方向、深さなどのプランニング段階から骨造成等の外科処置はもちろん、付随する軟組織の扱い方、アバットメントの選択、補綴物の形態まで、現在ではデジタル技術も応用してよりハイレベルな治療が可能になってきている。それらの技術は日々改良され、新しい研究に基づく科学的エビデンスも増加する中で、審美領域におけるインプラント補綴を行う際に、今本当にできること、必要なことを整理して紹介する。また、一方で美しい補綴形態を作り出す感覚は基本的な理論に基づく不変のものであり、本講演ではその真髄にも触れておきたい。

□ **臨床リレーセッション 2(専門医研修単位認定セミナー)** 2019年5月11日(土)15:50~17:50(120分)

「**部分床義歯の力学を再考する ~天然歯を守るインプラント支持の活かし方~**」

座長：古谷野潔 (九州大)
 若林 則幸 (医歯大)
 講師：山下秀一郎 (東歯大)
 中居 伸行 (関西支部)
 大久保力廣 (鶴見大)
 安部 友佳 (昭和大)

部分床義歯の設計理論には様々な力学的考慮が必要となる。本セッションでは、コンベンショナルな部分床義歯における設計の考え方を様々な角度から整理し、その弱点を探る中で、術者がその配置を選択できるインプラントをどう活用するべきかを考える。維持装置の設計から、フレーム構造の工夫など、従来の義歯でできることから、インプラント支持を利用する部分床義歯(IARPD)の考え方まで議論する。実際にインプラント支持の部分床義歯を利用する患者のQoLの観点からもその有効性を考察したい。また、近年固定性インプラント治療のトラブル後のリカバリーとして有床義歯への転換も需要が増しており、その将来的な可能性も探る。

□ **臨床スキルアップセミナー 1** 2019年5月12日(日) 9:00~10:00 (60分)

「**顎機能障害に対する補綴学的アプローチ**」

座長：鱒見 進一 (九歯大)

西山 暁 (医歯大)
講師：築山 能大 (九州大)
小見山 道 (日大松戸)

顎機能異常の診断には、咀嚼や嚥下機能に関する生理学的、解剖学的知識が必須である。また、エックス線やMRI等の画像診断能力も要求される。加えて治療のスキルが求められる。診断に必要な広範な知識を集約してわかりやすく講演してもらうとともに、顎機能異常患者に対する補綴学的な治療方法と、顎機能異常の予防に寄与しうる咬合管理の実際までを展開してもらう。

□ **臨床スキルアップセミナー 2** 2019年5月12日 (日) 10:10~11:10 (60分)

「**高齢者における口腔リハビリテーションと補綴歯科治療**」

座長：河相 安彦 (日大松戸)
佐藤 裕二 (昭和大)
講師：飯沼 利光 (日本大)
高橋 一也 (大歯大)

超高齢社会にあつて、訪問診療等で高齢者の歯科治療が日常となっている現状において、義歯製作、義歯調整、歯科衛生士による口腔衛生管理を主とした診療内容にとどまらず、機能回復に繋がる口腔リハビリテーションが求められている。そこで、居宅や介護施設等の訪問診療の現場で、口腔機能低下症や咀嚼障害、摂食嚥下障害に対して有効な口腔リハビリテーションの理論と口腔機能訓練、嚥下機能訓練等のスキルアップに有効な技術的ノウハウ等を展開して頂く予定である。

□ **パネルディスカッション** 2019年5月12日 (日) 10:40~12:10 (90分)

「**接着ブリッジの古今東西 ~メタルとジルコニア、2リテーナーとカンチレバー~**」

座長：矢谷 博文 (大阪大)
峯 篤史 (大阪大)
演者：眞坂 信夫 (東京支部)
竹市 卓郎 (愛院大)
パネラー：垂水 良悦 (札幌デンタルラボラトリー)
猪越 正直 (医歯大)

接着ブリッジは従来法のブリッジと比べて侵襲の少ない補綴装置であり、わが国は世界をリードして基礎研究データを蓄積してきた。2008年には保険導入されたことから、接着ブリッジ（金属製、2リテーナー）は一般的に広く行われる治療となった。近年、海外ではジルコニアを応用した接着ブリッジや片側支台歯支持（カンチレバー）の接着ブリッジが行われ、優れた臨床結果も報告されている。本セッションでは、接着ブリッジの長期症例を供覧するとともに、わが国と海外の事情の違い、さらには今後の展望を議論する。

□ **研究教育セミナー** 2019年5月10日 (金) 17:00~18:30 (90分)

「**歯科補綴学研究の出口戦略**」

座長：志賀 博 (日歯大)
馬場 一美 (昭和大)
講師：佐々木啓一 (東北大)
二川 浩樹 (広島大)

歯学は実学であり、私どもの研究は社会へ還元されるべきである。治療効果の検証、標準化などはそのベースになるが、本学会会員からは新たな治療法、技術の開発に関する研究が数多く発表されている。これら論文をかくためだけのものにするのではなく、臨床応用へ向かって進めるべくトルも必要である。
我が国ではAMEDを中心に新たな医療技術・医療機器開発に力を入れているが、補綴歯科からの発信も必要である。そこで開発の道のりがどのようになっているのか、具体例に基づいて知識を広げることが目的とする。

□ **歯科医療安全対策推進セッション** 2019年5月11日 (土) 15:20~16:20 (60分)

「**診療室・技工室における作業環境**」

座長：鮎川 保則 (九州大)
田中 昌博 (大歯大)
講師：森本 泰夫 (産業医科大学 産業生態科学研究所)

2018年7月付新聞に、演者の森本先生が執筆されたある記事が掲載された。要約すると、20代の院内技工士が入職3年でじん肺を発症し、技工士を断念せざるを得なかったという内容であった。

特に補綴は歯科技工と密接に関連し、診療室でも切削等による粉塵曝露が避けられないが、我々はリスクをどれくらい理解しているだろうか？例えばILO（国際労働機関）は、クリストバライトが「珪肺症その他の肺への影響、自己免疫疾患、腎臓への影響、発がん性」を有するとしているが、有効な局所換気を実施しているだろうか。本セッションでは特に粉塵の点から我々の作業環境を見直したい。これは自身やスタッフの健康を守るために必須の知識である。

□ **専門医研修会（専門医研修単位認定セミナー）** 2019年5月12日（日）13:10～15:10（120分）
「補綴歯科専門医として身につけるべきコンピテンシ」

座長：河相 安彦（日大松戸）
澤瀬 隆（長崎大）
講師：糸田 昌隆（大歯大）
古屋 純一（医歯大）
田口 則宏（鹿児島大）

補綴歯科専門医として求められている能力および資質をより明確にするために教育検討委員会では、補綴歯科専門医のアウトカム基盤型プログラムが検討され、包括的能力（コンピテンシ）と身につけるべき能力（コンピテンシー）が提案された。しかしながら、これらのコンピテンシに基づき補綴歯科専門医はどのように日々の診療に従事し行動すべきかの例示は多くない。そこで、この研修は、コンピテンシ「口腔機能と食の支援」と「プロフェッショナリズム」に焦点を当て、3人の先生に、補綴歯科専門医として身につけるべきこれらのコンピテンシとコンピテンシーを、臨床を通して解説していただき、補綴歯科専門医の資質向上につなげることを趣旨としている。

□ **委員会セミナー 1（用語検討委員会）** 2019年5月11日（土）16:30～17:30（60分）
「歯科補綴学専門用語集 – 改訂のポイント –」

座長：西村 正宏（鹿児島大）
岡崎 定司（大歯大）
講師：村上 格（鹿児島大）
秋葉 陽介（新潟大）
古地 美佳（日本大）

2019年に歯科補綴学専門用語集第4版が改訂され、第5版が発刊予定である。第5版では、学問と時代の変化に伴って新たに収載された用語に加え、旧版収載用語のうち、用語やその意味が変わったものが多々ある。そのため本セミナーでは主要な追加用語、意味の変更内容や改訂の経緯を説明し、新たな歯科補綴学専門用語集を存分に活用していただけるよう、補綴歯科学会員への周知を図りたいと考えている。

□ **委員会セミナー 2（診療ガイドライン委員会）** 2019年5月12日（日）11:20～12:20（60分）
「舌接触補助床アップデート – ここが変わった：エビデンスと臨床 –」

座長：小野 高裕（新潟大）
會田 英紀（北医療大）
講師：小野 高裕（新潟大）
尾澤 昌悟（愛院大）
中島 純子（東京都健康長寿医療センター）

診療ガイドライン委員会は、今年度「摂食・嚥下障害、構音障害に対する舌接触補助床（PAP）の診療ガイドライン」を改訂中である。この臨床スキルアップセミナーでは、ガイドラインの改訂内容と保険医療収載要項を説明した後、初心者や未経験者を対象にPAPの適用判断（スクリーニング）、製作・調整方法や関連する摂食機能療法などを紹介することで、PAPをより多くの補綴歯科学会員に活用してもらうことを目指したいと考えている。

□ **ハンズオンセミナー 1** 2019年5月11日（土）9:00～10:00（60分）／11:00～12:00（60分）
「軟質材料を用いたリラインの実践 ～技工操作から調整、除去まで～」

講師：上田 貴之（東歯大）
和田 健（東歯大）

軟質材料を用いた義歯のリラインについて、テーブルクリニック方式で紹介する。軟質リラインをやってみたいけどやり方がよくわからない、やってみただけどうまくいかない、といった方々の疑問にお答えしたい。リライン法では、間接法のフラスク法が確実であり推奨されるが、ジグ法は処置時間を短縮できるため、長時間の義歯の預かりができない場合に有用である。そこで今回は、皆さんの馴染みが少ないと思われるジグ法による間接リラインの実際をご覧いただく。また、軟質リライン後の調整に用いる切削器具の選択や調整法、長期経過後などに再リラインを行

う際に必要となる軟質リライン材の除去方法についても解説したい。

協賛企業：株式会社ジーシー、株式会社トクヤマデンタル、ネオ製薬工業株式会社

□ **ハンズオンセミナー2** 2019年5月11日（土）9:00～10:00（60分）／11:00～12:00（60分）

「**口腔機能検査の活用**」

講師：志賀 博（日歯大）

人口構成の変化や歯科疾患罹患状況の変化に伴い、「歯の形態の回復」を主体としたこれまでの「治療中心型」の歯科治療だけでなく、各個人の状態に応じた口腔機能の維持・回復（獲得）を目指す「治療・管理・連携型」の歯科治療の必要性が増すと予想されている。このような中、歯科の新しい疾患概念である口腔機能低下症に対し、平成30年4月から口腔機能管理加算が保険導入され、口腔機能の客観的な評価と適切な介入の必要性が求められ始めている。本セミナーでは、口腔機能を客観的に評価する検査法として保険導入されている各種検査（下顎運動、咀嚼能力、咬合圧、舌圧）の活用について解説させていただく。

協賛企業：株式会社ジーシー

□ **ハンズオンセミナー3** 2019年5月11日（土）13:00～14:20（80分）／14:40～16:00（80分）

「**口腔内スキャナーの実践**」

講師：疋田 一洋（北医療大）

最近様々な口腔内スキャナーが開発され、スキャナーの大きさ、計測精度、スピード、カラー情報の取得などに改良が行われ、性能が著しく向上し、患者や術者にとってさらに使用しやすく、臨床現場で有益かつ信頼性のある機器となっている。本学会では第126、127回学術大会において口腔内スキャナーのハンズオンセミナーを開催し多くの参加者に実践していただいた。そこで今回も本学会賛助会員の協力を得て、現在日本国内で承認を得ている口腔内スキャナーのすべての機種を実際に体感し、それぞれの口腔内スキャナーの特徴や使用方法について理解を深めていただく。

協賛企業：アラインテクノロジージャパン株式会社、株式会社ジーシー、株式会社松風、スリーエムジャパン株式会社、株式会社デンツプライシロナ、株式会社ヨシダ

□ **ハンズオンセミナー4** 2019年5月11日（土）13:00～14:00（60分）／14:30～15:30（60分）

「**ファイバーポストレジンコアをマスターする**」

講師：坪田 有史（東京支部）

根管処置歯の支台築造の術式において、レジン支台築造は、象牙質接着の信頼性の向上を主な背景とし、その選択頻度が高くなった。さらにポスト保持型のケースで選択されるファイバーポストレジンコアは、主に歯根破折への対策、ならびに審美性の向上やメタルフリーを目的として臨床応用される。本ハンズオンセミナーでは、参加者に歯科接着が不可欠なファイバーポストレジンコアの複数ある接着界面を講演にて理解し、臨床テクニックをハンズオンにて習熟して頂くことを目的とする。なおハンズオンは、臨床で行われている直接法および間接法でのファイバーポストレジンコアについて行う。

協賛企業：株式会社サンメディカル、株式会社ジーシー

□ **イブニングセッション** 2019年5月11日（土）18:00～19:00（60分）

「**臨床イノベーションのための挑戦**」

コーディネーター：若手会員4名～6名（公募）

□ **市民フォーラム** 2019年5月11日（土）14:30～16:30（120分）

「**飲み込み障害を予防して美味しく食べよう**」

座長：津賀 一弘（広島大）

講師：藤本 篤士（札幌西円山病院）

山根由起子（旭川医大）

超高齢社会を迎えた現在、QOLの維持向上に大きく貢献し、ひいては健康寿命の延伸は解決すべき喫緊の課題である。「口から食べる」ことが、健康寿命の延伸に寄与していることは国民にも理解されつつある。本市民フォーラムにおいては、「口から食べることの重要性」をテーマに、食の楽しみ、摂食嚥下機能低下の予防、摂食嚥下障害への対応、多職種連携などの観点を含めて、藤本篤士先生に歯科医師の立場から、山根由起子先生に看護師の立場からお話しを戴く予定である。

Copyright © The 128th Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society All rights reserved.



公益社団法人 日本補綴歯科学会 第128回 学術大会

The 128th Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society

会期 2019年5月10日(金)～12日(日) 会場 札幌コンベンションセンター

託児施設のご案内



本大会では期間中、保育室を設置いたします。

保育室では外部委託の保育スタッフがお子様のお世話をいたします。利用規約など詳細については以下の案内をご確認ください。

スペースの関係上、お預かりできるお子様の人数には限りがあり、ご利用は事前予約された方のみとなります。なるべくお早めにお申し込みくださいますようお願いいたします。

ご利用資格

公益社団法人日本補綴歯科学会第128回学術大会の参加者を保護者とするお子さま（3ヶ月以上～小学6年生まで）

申込方法

このページの下部にある申込用紙に必要事項を記入のうえ 2019年4月15日（月）までにFAXもしくはメール添付にて申込書をお送りください。

定員に達した場合にはキャンセル待ちとなります。
キャンセルが出た場合にのみお申し込み順にご連絡させていただきますので、何卒ご了承ください。

当日の受付場所

公益社団法人日本補綴歯科学会第128回学術大会参加受付（総合案内）
札幌コンベンションセンター 1F

お預かり場所

札幌コンベンションセンター内特設託児室

開設時間

2日目 5/11（土） 8:30～12:00／13:00～18:00

3日目 5/12（日） 8:30～12:15／13:15～15:30

利用料金

無料

ご案内

- お預けの前に必ずお手洗いを済ませてください。
- お預かりの際に預かり証を発行します。おむかえ時に必要となります。
- お子さまの健康状態でご心配なことがあれば、事前にご相談ください。

持ち物

1. 保育申込書（記入済のもの）
2. 保育室利用確認書（記入済のもの）
3. 保育中に必要なもの（必ず記名し、ひとつのバッグにまとめてください）
乳児：粉ミルク、哺乳瓶、その他飲み物、離乳食、おむつ、着替え
幼児以上：飲み物、食事、着替え

おむかえ

- お預けとおむかえは原則として、同じ方にお越しいただきます。お預かりの際にお渡しする「預り証」を必ずご持参ください。
- おむかえの際に違う方がいらっしゃる場合は必ずお預かり時にお申し出ください。お申し出が無い場合は、お引渡しができない場合もございます。
- おむかえ予定時刻より30分経過しても保護者と連絡が取れない場合には、年次大会運営実行委員会に届け出をさせていただきますので、ご了承ください。

お食事

- 保育室では調理は一切おこないません。
- 原則として、お持込いただいたもののみをお子さまに召し上がっていただきます。これにより、万が一食中毒や体調不良が生じた場合については一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

保険

- 万が一の場合の傷害保険、賠償保険には万全を期しておりますが、不可抗力による事故など、保険金が支払われない場合もございますことをご了承ください。

ご不明な点がございましたら、下記担当までお問い合わせください。

 [託児室利用申込書\(PDF\)](#)

利用申し込みの受付は終了いたしました。

公益社団法人日本補綴歯科学会第128回学術大会 運営準備室

(株) 近畿日本ツーリスト北海道 北海道DM支店 MICEセンター

〒105-0001 札幌市中央区北3条西2丁目 日通札幌ビル6階

Tel : 011-280-8855 Fax : 011-221-5491

E-mail : s-convention-1@or.knt-h.co.jp

営業時間：平日 9:30～17:30（土・日・祝日は休業）

2019年5月10日(金)

	第4会場	ハンズオン第1会場	第2会場	京王プラザホテル札幌
	認定医・専門医筆記試験	会務連絡会, 理事会 委員長会, 支部長会	臨時総会 日本歯科医学会会長懇談会 研究教育セミナー	懇親会
	107+108会議室	104+105会議室	特別会議場	2F エミネンスホール
9:00				
10:00		会務連絡会		
11:00		理事会		
12:00		委員長会		
13:00				
14:00		支部長会		
			臨時総会受付	
15:00	認定医・専門医筆記試験 受付			
	認定医・専門医筆記試験		臨時総会	
16:00				
			日本歯科医学会会長懇談会	
17:00			研究教育セミナー 歯科補綴学研究の出口戦略	
			座長: 志賀 博(日歯大) 馬場一美(昭和大) 講師: 佐々木啓一(東北大) 二川浩樹(広島大)	
18:00				
				懇親会受付開始
19:00				
				懇親会
20:00				
21:00				
22:00				

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	ポスター会場	展示会場	専門医ケース プレゼンテーション	ハンズオン第1会場	ハンズオン第2会場
大ホールA	特別会議場	中ホール	107+108会議室	小ホール	204会議室	大ホールB		206, 207会議室	104+105会議室	201+202会議室
						ポスター掲示		ポスター掲示		
開会式										
課題口演 バイオロジー 演題: 演題1~3 座長: 西村正宏(鹿児島大)	課題口演 Digital prosthodontics, Smart prosthodontics, 新規診断概念、治療法 の提案・検討 演題: 演題4~6 座長: 山口恭彦(北海道大)	課題口演 臨床エビデンス 演題: 演題7~9 座長: 津賀一弘(広島大)							ハンズオンセミナー1-1 軟質材料を用いたリライン の実践 ~ 技工操作から調整、除 去まで~ 座長: 上田典之(東歯大) 和田 徹(東歯大)	ハンズオンセミナー2-1 口腔機能検査の活用 座長: 志賀 博(日歯大)
理事長講演 歯科補綴学の本質を探究する 座長: 市川智雄(徳島大) 講師: 大川廣治(明海大)	第1会場サテライト 第1会場サテライト									
臨床リレーセッション1 審美領域におけるインプラント 補綴のために〜今何ができ るか、何が必要か、〜 座長: 正木 千寿(九州大) 横山裕子(昭和医大) 講師: 土屋賢司(東京支部) 片岡賢夫 (大阪セラミックセンター)	シンポジウム1 プラキズムと上手につきあ うために 座長: 藤澤政紀(明海大) 横山裕子(昭和医大) 講師: 加藤隆史(大阪大) 山口恭彦(北海道大)	一般口演 有床義歯1 演題: 01-1~3 座長: 山崎健球(呉羽大) 一般口演 クラウンブリッジ1 演題: 01-4~6 座長: 五味治徳(日歯大)							ハンズオンセミナー1-2 軟質材料を用いたリライン の実践 ~ 技工操作から調整、除 去まで~ 講師: 上田典之(東歯大) 和田 徹(東歯大)	ハンズオンセミナー2-2 口腔機能検査の活用 講師: 志賀 博(日歯大)
ランチョンセミナー2-1 (クラフノ・スミスラウン ・コンシューマーマーヘルス ケアジャパン株式会社)	ランチョンセミナー2-2 (株式会社 松風)	ランチョンセミナー2-3 (株式会社 モリタ)	ランチョンセミナー2-4 (デンツプライインロナ株 式会社)	ランチョンセミナー2-5 (日本歯科薬品株式会 社)	ランチョンセミナー2-6 (京セラ株式会社)	ポスター討論 奇数演題				
特別講演 粘着の厚み用途に応じ て選んだ形状最適化 座長: 横山裕子(昭和医大) 講師: 中塚健之(北海道大)	シンポジウム2 補綴学的、歯周病的観 点から見た連結・非連結 座長: 馬場昭弘(松歯大) 一般口演 インプラント1 シンポジウム: 座長: 藤澤政紀(明海大) 横山裕子(昭和医大) 木原優文(九州大)	一般口演 バイオマテリアル1 演題: 01-7~9 座長: 黒岩昭弘(松歯大) 一般口演 インプラント1 演題: 01-10~12 座長: 越智守生(北歯歯大)							ハンズオンセミナー3-1 口腔内スキャナーの実践 講師: 足田一洋(北歯歯大)	ハンズオンセミナー4-1 ファイバーポストレジニア をマスターする 講師: 坪田有史(東京支部)
シンポジウム3 認知症の現状、補綴歯科 治療と今後の研究展開 座長: 佐々木啓一(東北大) 富木賢治(歯大) シンポジウム: 座長: 藤澤政紀(明海大) 横山裕子(昭和医大) 木本克彦(神歯大)	シンポジウム4 Biomedical Engineering -再生歯科補綴に向けた 人工臓器の創成- 座長: 江草 宏(東北大) 西村正宏(鹿児島大) シンポジウム: 座長: 藤澤政紀(明海大) 横山裕子(昭和医大) 木本克彦(神歯大)	一般口演 口腔機能1 演題: 01-13~15 座長: 玉置勝可(神歯大) 一般口演 症例1 演題: 01-16~18 座長: 武部 純(愛院大)	市民フォーラム 飲み込み障害を予防し て美味しく食べよう 座長: 津賀一弘(広島大) 講師: 藤本賢士 (札幌西山病院) 山根由起子 (旭川歯大)						ハンズオンセミナー3-2 口腔内スキャナーの実践 講師: 足田一洋(北歯歯大)	ハンズオンセミナー4-2 ファイバーポストレジニア をマスターする 講師: 坪田有史(東京支部)
臨床リレーセッション2 (専門医研修単位 認定セミナー) 部分床義歯の力学を再考 する〜天然歯を守るイン プラント支持の活かし方〜 座長: 古谷野澤(九州大) 若林利幸(歯大) 講師: 山下秀一郎(東歯大) 大久保力廣(鹿児島大) 安部友徳(昭和医大) 中居伸行(関西支部)	第1会場サテライト		歯科医療安全対策推進 セッション 座長: 田中昌博(大歯大) 鮎川稔則(九州大) 講師: 森本壽夫(産科歯科大 学)	一般口演 ニューロサイエンス1 演題: 01-19~21 座長: 藤澤政紀(明海大)						
			診療室・技工室における作 業環境 座長: 田中昌博(大歯大) 鮎川稔則(九州大) 講師: 森本壽夫(産科歯科大 学)	一般口演 バイオマテリアル4 演題: 01-22~25 座長: 岡崎定司(大歯大)						
			委員会セミナー1 (用語検討委員会) 座長: 西村正宏(鹿児島大) 岡崎定司(大歯大)	一般口演 ニューロサイエンス2 演題: 01-26~28 座長: 木本克彦(神歯大)						
			歯科補綴学専門用語集 〜改訂のポイント 座長: 西村正宏(鹿児島大) 岡崎定司(大歯大)	一般口演 症例2 演題: 01-29~30 座長: 鈴木賢也(歯大)						
イブニングセッション1 歯科補綴治療に関係した 感覚機能の解明に関する 将来的展望	イブニングセッション2 補綴歯科における「技能教 育」を考える	イブニングセッション3 口腔機能検査の基準値を 考える	イブニングセッション4 補綴介入で歯周炎患者の 残存歯を守れ! 〜各治療オプションを最大 限に活用するための補綴 戦略〜	イブニングセッション5 歯科補綴学研究者による IPS細胞研究が拓く歯科 新と創薬の未来	イブニングセッション6 MI時代のインプラント パーデンチャー 〜超高齢社会に即した最 適な設計を考える〜					

The 128th Annual Meeting of Japan Prosthodontic Society
May 10 (Fri)

	Room 4	Hands-on seminar Room#1	Room 2	KEIO PLAZA HOTEL SAPPORO
	Written Exam for Specialists	Executive Board Meeting Board Meeting	General Meeting Meeting of Japanese Association for Dental Science Research Education Seminar	Banquet
	Room107+108	Room104+105	Conference Hall	2F Eminence Hall
9:00				
10:00		Executive Board Meeting		
11:00		Board Meeting		
12:00		Committee		
13:00				
14:00		Branch Manager Meeting	Extraordinary General Meeting Registration	
15:00	Administration Written Exam for Specialists		Extraordinary General Meeting	
16:00	Written Exam for Specialists			
17:00			Meeting of Japanese Association for Dental Science Research Education Seminar Exit Strategy for Prosthodontics Research	
18:00				
19:00				Banquet Registration
20:00				Banquet
21:00				
22:00				

The 128th Annual Meeting of Japan Prosthodontic Society
May 12 (Sun)

	Room 1	Room 2	Room 3	Room 5	Poster	Exhibition	Specialist Applicants Case Presentation	
	Main Hall A	Conference Hall	Mid-sized Hall	Small Hall	Main Hall B		Room 206, 207	
8.00								
9.00	Symposium 5 Redefinition of prosthodontic outcomes -to establish interdisciplinary oral intake-emphasized nutrition services-	Symposium 6 Clinical application of intraoral scanner	Clinical Skill-up Seminar1 Prosthetic approach to temporomandibular dysfunctions	Oral Presentation O2-1~3	Poster Presentation Exhibition	Exhibition	Poster Presentation Exhibition	
10.00				Oral Presentation O2-4~6				
			Clinical Skill-up Seminar2 Oral rehabilitation and prosthetic dental treatment in the elderly	Oral Presentation O2-7~9	Poster Discussion (even number)			
11.00	International Special Lecture Computer-aided engineering of complete dentures and implant prostheses: Clinical experiences that include the recent use of intraoral scanning for edentulous patient	Panel discussion All ages and countries of resin-bonded fixed dental prostheses ~ Metal or Zirconia, Two-retainer or Cantilever~	Oral Presentation O2-10~12	Poster Presentation Exhibition	Specialist Applicants Case Examination		baba	
		Committee Seminar 2 Updating Palatal Augmentation Prosthesis from the view of clinical evidences	Oral Presentation O2-13~15					
12.00		Oral Presentation O2-16~18						
	Luncheon Seminar 3-1	Luncheon Seminar 3-2	Luncheon Seminar 3-3	Luncheon Seminar 3-5	Poster Presentation Exhibition			Poster Presentation Exhibition
13.00	Prosthodontic Specialist Seminar The Competence that Prosthodontists Should Acquire	Prosthodontic Specialist Seminar Room 1 satellite	Oral Presentation O2-19~21		Remove poster			Remove poster
14.00			Oral Presentation O2-22~24					
15.00			Oral Presentation O2-25~28					
	Closing Ceremony Award Ceremony							
16.00								
17.00								
18.00								